

平成30年度夏期研修会(瀬戸市)

## 不登校予防の『王道』 ～中1不登校ゼロを 実現した大規模中学校の実践から～

不登校の現状を見つめると、私たち教員が探るべき具体方策の「方向性」がわかります。今、共同研究を進めている鳥取市立桜ヶ丘中学校・最高に「旬」の学校の実践を紹介します！

名城大学 曾山和彦

2018.7.25

進化を続ける！

後を追いかけてませんか？

## 鳥取市立桜ヶ丘中学校の実践

～短時間グループアプローチの習得と活用～学びのアクティブラーニング化～

- 平成28年度、短時間グループアプローチ(GA)「桜咲タイム」導入
- 平成28年度3学期、校区内4小学校6年生に「桜咲タイム」出前授業実施
- 平成29年度1学期、中1不登校ゼロ実現 ← 小中連携という「王道」

平成29年10月18日付、日本海新聞朝刊に「不登校解消など効果」として紹介。平成29年度からは校区内4小学校もGA「桜咲タイム」を全校実施開始。  
余談：兵庫の講演会で桜ヶ丘中の素晴らしさを語ったところ、参加者の一人が「ウソでしょ」と発言。卒業生とのことで「当時はひどかった」と。彼は、桜ヶ丘中の「今」に驚くと共に喜んでいました。

- 平成29年度、「アクティブラーニングの伝道師」：小林昭文先生提唱のアクティブラーニング授業を導入

11/20(火)公開研究会、「授業提示」と「曾山&小林コラボ講演」!

## 桜咲タイム 年間計画

平成29年度、ほぼ毎週のように実践！

実施日	内容		
	1年	2年	3年
第1回 4月12日	パスディティーン	パスディティーン	パスディティーン
第2回 4月25日	ネームゲーム	パスディティーン	パスディティーン
第3回 4月26日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第4回 4月28日	二番旗	二番旗	二番旗
第5回 5月10日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第6回 5月17日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第7回 5月24日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第8回 6月14日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第9回 6月21日	二番旗	二番旗	二番旗
第10回 7月5日	二番旗	二番旗	二番旗
第11回 7月19日	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡
第12回 8月30日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第13回 9月13日	二番旗	アドジャン	アドジャン
第14回 9月19日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第15回 9月20日	アドジャン	アドジャン	二番旗
第16回 9月27日	二番旗	二番旗	二番旗
第17回 10月11日	全校オリエンテーション		
第18回 10月18日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第19回 11月8日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第20回 11月16日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第21回 11月22日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第22回 11月29日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第23回 12月13日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第24回 12月20日	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡
第25回 1月10日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第26回 1月17日	アドジャン	アドジャン	二番旗
第27回 1月24日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第28回 2月7日	アドジャン	アドジャン	アドジャン
第29回 2月21日	アドジャン	アドジャン	いいとこ四面鏡
第30回 3月14日	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡	

## 桜咲タイム 確認事項

ア できている イ 概ねできている ウ あまりできていない エ できていない

<活動前の指導・指示>

- 1 (黒板に提示する) 3つのルールの確認が毎回できている。
- 2 3つのルールを黒板の真ん中に掲示できている (している)。
- 3 黒板の「おねがい、今日のポイント」に目を渡し、そのことを全員に意識させている
- 4 ルールの確認や活動内容の説明は、机を前にしたままで行っている。

<紐の作り方について>

- ⑤ 机を離す時、3～4人の少人数で行っている。
- ⑥ 机を離す時、音を立てず静かにしている。
- ⑦ 机を離れなく、くっつけている。(欠席者の机を含む)

<紐活動について>

- ⑧ 船めと紐のあいさつができています。
- ⑨ エクササイズの時、トークタイムの時間(各90秒)を確認できている。

<振り返りの時間>

- 10 振り返りは、簡単な一言感想にならないよう指導できている。

お名前

4

桜ヶ丘中のチェックシート「一枚岩」が崩れぬよう、「型」を大事にしています

## 桜咲タイム 確認事項

平成30年6月7日

運動小 研究主任

<子どもの姿>

- 1 黒板に提示したルールの確認を、だまって聞いている。
- 2 机を静かに動かして、3～4人のグループを作っている。
- 3 机をすき離なくくっつけている。(欠席者の机)
- 4 「おねがいます」と言って始めている。
- 5 友だちの話をよく聞いている。(うなずき、笑顔)
- 6 「～です」といっていない言葉で、グループの友だちに聞こえる声で話している。
- 7 「ありがとうと言いました」と言って終わっている。

<船頭のポイント>

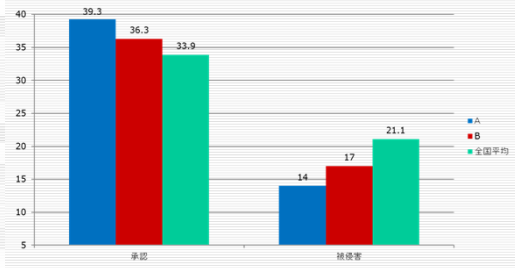
- 1 3つのルールを黒板の真ん中には、毎回確認する。ルールの説明や確認は、机を前にしたまま行う。(学号が上がるにつれ、確認の時間は短くなる)
- 2 音を立てないこと、なるべくすきやグループにすることを意識させる。
- 3 お互いに気持ちよく話し合うために、机をすき離なくそろえさせる。→友だちのことを大切に思う気持ちの関係を築く。
- 4 活動を始めるといっしょの音、いっしょに活動する人に促す言葉の気持ちを表すために「おねがいます」が自然に言えるようにする。ほどよい声の大きさを考えさせる。
- 5 人の話を待つことで最後まで聞くスキルを身に付けさせる。
- 6 ていねいな言葉づかいができるように、単語だけの話し合いにならないよう、「～です。」を徹底する。グループの友だちに聞こえる。ほどよい声の大きさを意識させる。
- 7 相手に対する感謝の気持ちを言葉に表すことが自然にできるように、活動の終わりに、必ず「ありがとうと言いました」と言って終わる。
- 8 エクササイズのあとに、指導者の声掛けを早く入れる。「友だちの話を最後まで聞く」「黒板に貼っていいね」など
- 9 フリートークのあとに最後の振り返り(感想)を、軽く聞く。振り返りの時間のような指導にならないよう気を付ける。

面影小(校区内で最も規模の大きな小学校)のチェックシートより丁寧に「型」の定着を目指しています

5

## 小中連携実践の 効果；中1比較

どちらも良い中学校だが差は明らか。実践の違いは「小中連携」の有無



A(青):桜ヶ丘中。QU満足度尺度にて統計的にも「有意差」が明らか!

6

## 人が人になるには人が必要



□ 現代の子どもたちは「人とかかわり体験不足」

・それ故、「自尊感情&ソーシャルスキル」が不足する  
・この二つの不足が「不登校・いじめ・気になる子」の問題に直結する

学校・学級だけは、日常的に「集団がある」という点において昔と変わらない。私たち教師は集団を扱うプロ。子どもたちにかかわりの機会を様々に用意することができる。  
「人を人にする最後の砦」が私たち教師！

7

## 楽しく&負担感の少ない かかわり体験を「ちょこちょこ」入れる

□ 関係づくりの花火打ち上げ&火のリレー

かかわりに安心感がなければ、誰が友だちとかかわるだろうか...  
かかわりの糸が結ばなければ  
国が目指す授業改善は進まない  
糸を結ぶ具体方策は？  
私の提言は「短時間GAの導入&授業におけるペア・グループ活動の導入」



「〇〇タイム&〇〇トーク」・文化継承を！

8

## よさっぱりタイム&よさっぱりトーク 実践8年目 「関係づくり実践のメッカ」;刈谷市立依佐美中学校 ~教師の校内研修感想アンケートから~



- 生徒が男女仲良く話し合いの活動ができるのは、よさっぱりを今まで続けてきたからこそだと感じる。この学校に長年勤めることで、それが当たり前になっているが、本当にありがたい。
- 特別支援学級生徒も一生懸命取り組んでいる。よさっぱりを重ねる毎にすこく成長が感じられる。喧嘩ばかりしていた生徒が、少しずつコミュニケーションをとることができるようになってきた。よさっぱりで鍛えているからだと思う。
- よさっぱりタイム&トークで、かかわり合いが増えるほど生徒の様子が良くなっていく。特にトークでは、聴く側が否定的な捉え方を決してしないので安心して発表できる雰囲気になる。
- 「よさっぱりタイムは思考を鍛えるのではなく、行動と感情を育てる」という話がとても印象深かった。
- 今年転動してきて、初めてよさっぱりタイムを行ったとき、こんなにも生徒が明るく、活動的になるのかと驚いた。
- 今年転動してきて、生徒の落ち着き、話の聴き方がすごいと思いつつ、それが当たり前と思っていた。しかし、積み上げがあったからこそと、再認識した。

依佐美中「目指せ10年継続！」文化になります！

9

## 子どもは遊ぶが如し 私たち教師は..

- ねらいをもって子どもの前に立つ
- 適切な行動に対して価値付け

発達段階に応じ、価値付けの言葉かけ

- ・褒めは？
- ・勇気づけは？
- ・認めは？



10

## 関係づくりの第一歩は相手への関心

□ 愛の反対は？ →

「どうでもいい」、「知らねえ」と  
言わない子どもに育てたい！  
そのために「関係づくりの第一歩は..」と  
繰り返し言い続ける



11

## ソーシャルスキル・トレーニング(SST; social skill training);「行動」の教育

□ SSTの骨子

してみせて、言って聞かせて、させてみて  
ほめてやらねば 人は動かじ

<基本展開>

1. インストラクション(言語指示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

### 演習;アドジャン

ねらい;挨拶、話の仕方、  
話の聴き方(傾き、視線、表情等)

12

**構成的グループ・エンカウンター(SGE;  
structured group encounter);「感情」の教育**

**SGEの2本柱;エクササイズ&シェアリング**

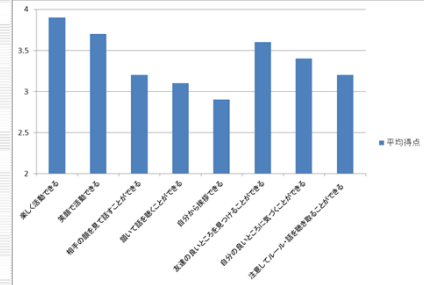
・エクササイズのやりっ放しにせず、「〇〇に気づいた、〇〇を感じた」等、個々の気づきをうながすシェアリングがとても大切

演習;アドジャン

ねらい;自他理解

13

**にこにこタイム&にこにこトーク 実践2年経過  
春日井市立西山小の実践効果  
~教師による児童に対するアンケート結果から~**



週1回、15分の「にこにこタイム」に関する児童の様子を教員19名が評価(満点は4点)。非常に高い肯定的評価となっている。

14

**にこにこタイム&にこにこトーク 実践2年経過  
春日井市立西山小の実践効果 2  
~教師の自由記述から~**

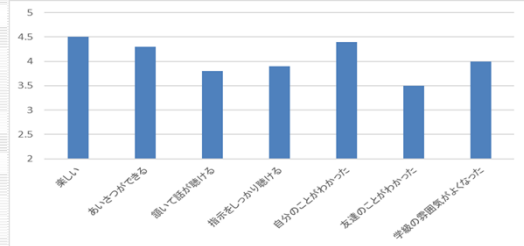


- 今年1年生でやってみて小さいうちから行うことの良さがわかった。低学年から行うことで、子どもたちは「顔」「相手の目を見る」という行動を意識していた。その反面、遊びの感覚が強すぎる子もいるので教師がしっかり指導していくことが大切だと思った。(1年担任)
- 春日井市全体で取り組むといい。(2年担任)
- 「塵も積もれば山となる」とはまさにこのこと。にこにこタイムの効果は大きい。(3年担任)
- にこにこタイムを楽しみにしている子が多くなったように思う。(4年担任)
- 毎週木曜の15分という短い時間だからこそ継続できた。(5年担任)
- 授業中、話し合いが自然にできるのはにこにこタイムのおかげ。(6年担任)
- 全校体制で取り組んでいるのがとても良い。活動の中だるみという意見があるが、教師が活動の意図を明確にしていればそんなことはない。(担任外)
- にこにこタイムは漢方薬。2年間でじわじわと効果が出てきた。子どもの変容と共に、教員の変容(話の聴き方、表情、挨拶等)も大きい。(管理職)

誰にとっても「思考の一枚岩」は難しいが、「行動の一枚岩」にはなれる。管理職・推進担当のリーダーシップにより、「岩」が堅くなりつつある。

15

**よしよしタイム 実践6ヶ月経過  
西尾市立吉田小の実践効果  
~4~6年児童のアンケート結果から~**

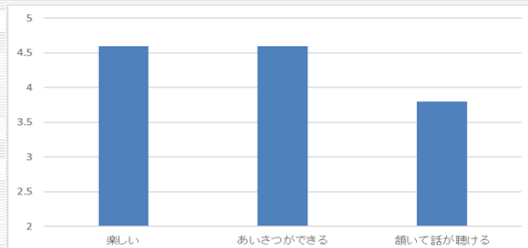


子どもたちが、楽しみつつ自己理解が促されるならば、実践価値あり

週1回、15分の「よしよしタイム」に関する4~6年児童180名が自己評価(満点は5点)。非常に高い肯定的評価となっている。

16

**よしよしタイム 実践6ヶ月経過  
西尾市立吉田小の実践効果  
~1~3年児童のアンケート結果から~**



子どもたちが、これほど「楽しい」と感じているならば、実践価値あり

週1回、15分の「よしよしタイム」に関する1~3年児童160名が自己評価(満点は5点)。非常に高い肯定的評価となっている。

17

**まとめ**



- 先進校に学ぶ
- 良い「文化」を創る
- ソーシャルスキル&自尊感情の意義・・・子どもに語る前に、私たち自身に語る

18

ご縁をご活用ください！

~Mail; kazu3623@hotmail.com~

- 実践上の悩みがあればメールを！
- HP;「KAZU・和・POCKET」に情報満載！
- Blog;「Today's pocket」は毎日更新！

また、お会いしましょう！



19

拙著紹介

### 「オニの心」シリーズ (明治図書)



私の初単著！ 思い出の著作です！



20

「オニの心」は私のお気に入りのタイトル

拙著紹介

### 「気になる子」シリーズ (教育開発研究所)



全国各地の「仲間」と創り上げた本です！



21

優しい色合いの表紙も私のお気に入り

拙著紹介

### 「王道」シリーズ (文溪堂)



私の似顔絵カットは「ねこまき」さん  
私の実践・研究の現在地をまとめました！

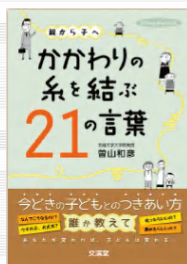


22

「王道＝正攻法の基本型」の教育を目指して

拙著紹介

### 親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉 (文溪堂)



「先生方の応援者」であることに加え、「保護者の応援者」にもなりたくて書き上げた本です！

このタイトルで多くのPTA講演もお受けしています！



23

私の応援メッセージが届きますように